

Q.

なぜ半導体は注目を集めているのですか？

A.

半導体は私たちの暮らしや産業を支える基幹部品であり、近年は生成AIの普及を背景に、データセンター向けなどの需要が大きく拡大しているためです。

- ◆ 半導体とは、電気の流れを制御する性質を持つ物質や、それを使った電子部品のことで、電子機器のさまざまな機能を支える重要な存在です。スマートフォンやパソコン、家電、自動車などの身の回りのさまざまな製品から、人工衛星や通信インフラまで、幅広い分野で使われています。
- ◆ 近年は、生成AIの普及を背景に、AI技術を支える半導体への需要が高まっています。生成AIの学習や推論には大量のデータを高速で処理する必要があり、こうした処理を担うデータセンターでは、高性能で省電力の半導体が広く使われています。このため、データセンター向け需要が拡大しており、これが半導体市場全体の成長を後押しする要因の一つとなっています。

### 私たちの暮らしや産業を支える半導体とその役割

#### 身近な製品

##### スマートフォン

通話や通信、画像処理、各種アプリの動作などを可能にする



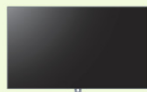
##### パソコン

文書作成や表計算、画像処理などに必要な演算や記憶を担う



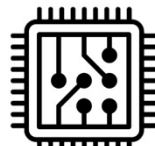
##### 家電製品

AV機器やエアコン、冷蔵庫などの動作や機能の制御に使われる



##### 自動車

「走る」「曲がる」「止まる」といった、基本的な動きの「制御」に活用される



半導体

#### 社会・産業を支えるインフラ

##### 人工衛星

高速通信や画像処理を担うほか、低消費電力化などを支える



##### 通信インフラ

通信データの高速処理や、基地局・通信機器の制御、省電力化を担う



##### 医療機器

画像診断装置や検査機器の制御・情報処理を担う



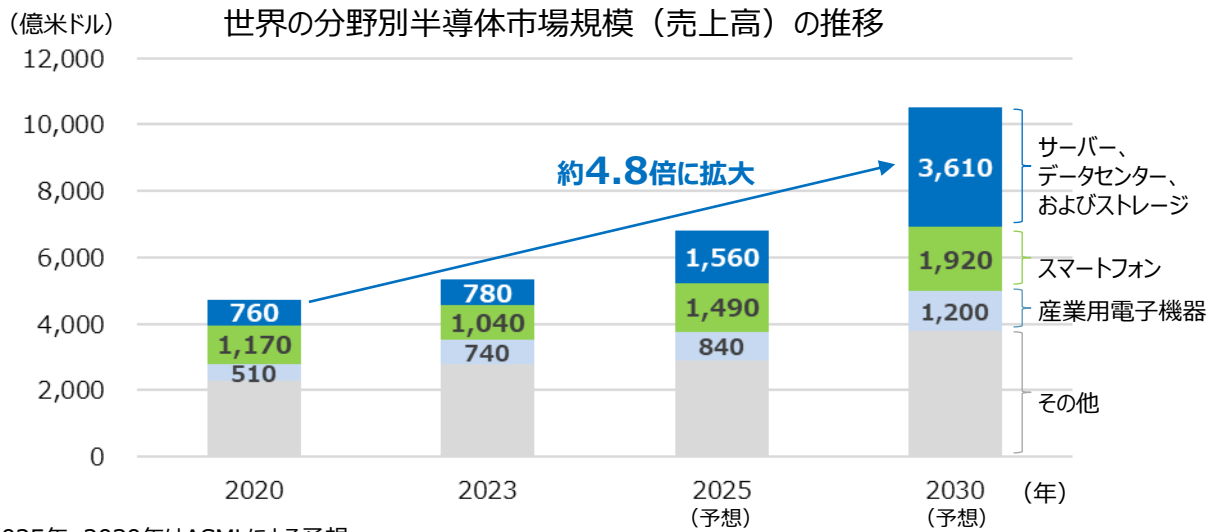
##### データセンター

クラウドサービスや生成AIにおいて、大量のデータ処理や演算を支える



※上記はイメージであり、実際とは異なる場合があります。

## データセンター向け需要が市場拡大をけん引



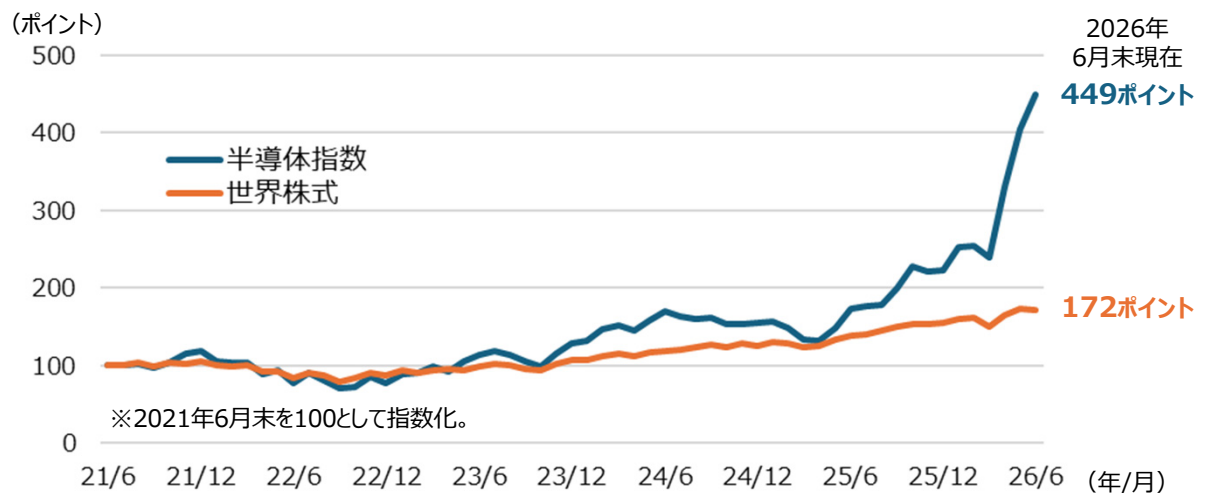
(注1) 2025年、2030年はASMLによる予想。

(注2) その他は、パソコン、自動車、有線・無線通信インフラの合計。

(出所) ASML Annual Report 2024 (Statistaより引用) のデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成

※上記は過去の実績および将来の予想であり、今後の市場環境を示唆あるいは保証するものではありません。

## (ご参考) 半導体指数等の推移



(注1) データは2021年6月末～2026年6月末、月次。

(注2) 半導体指数はフィラデルフィア半導体指数、世界株式はMSCI AC World Index。いずれも配当込み、米ドルベース。

(出所) Bloombergのデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成

※上記は過去の実績であり、今後の市場環境を示唆あるいは保証するものではありません。

### 【重要な注意事項】

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友DSアセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績および将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。